



かるがも便り



96号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：西森由紀子

今号の 記事内容

- 1面：変わる変わる 石神井のまちの今昔写真集
 2面：知られざる練馬の歴史シリーズ⑪ 葛城明彦氏
 3面：練馬の美術館シリーズ【ふるさと文化館展示】
 4面：SDGsに取り組むシリーズ⑩ 石神井図書館
- 5面：SDGsに取り組むシリーズ⑪ 練馬区立石神井南中学校
 6面：練馬に、縁(ゆかり)がある 文人シリーズ その①
 7面：練馬区内のサークル紹介その④ NPO 成年後見【これから】
 8面：【石神井再発見ウォーク】、【歴史と文化講座】。

～ 変わる 変わる 石神井のまちが大変貌する ～

練馬区の西の拠点都市で、池袋から最初の急行停車駅でもある西武池袋線の石神井公園駅(1915年開業時は武蔵野鉄道で石神井駅)は、開業以来109年になるが駅舎は改築を重ねて、現在の駅舎になっている。

練馬高野台駅から大泉学園駅まで連続立体高架化事業と複々線化により様変わりし、東京メトロ有楽町線や東急東横線、みなとみらい線と相互乗り入れ大変便利になった。

新旧の写真は、石神井のまちの変化の一部を見ることが出来る。
 4年後には高さ100m・26階建ての3つ目の超高層ビルが建つ予定。



▲石神井駅旧駅舎



▲石神井公園駅旧駅舎



▲石神井公園駅の新駅舎



▲石神井公園駅旧駅舎

▲昔の高野台地域を走る
西武電車

<南東から望む>



▲昔の石神井公園の灯籠流し



▲昔の石神井商店街の七夕まつり

▲石神井公園駅南口西地区再開発
ビル計画は、4年後に完成予定。

◆資料提供：練馬区情報ひろば & 石神井公園駅南口西地区再開発組合説明会資料による

【知られざる練馬の歴史シリーズ⑯】 石神井公園と檀一雄、文士たちの交流

「最後の無頼派」と呼ばれた檀一雄（1912～1976）は練馬区ゆかりの作家で、戦前から昭和中期に至るまで石神井公園・南田中に居住、そこでさまざまな文士らとも交流を重ねた。

檀が初めて石神井を訪れたのは1937（昭和12）年5月9日に、「青春五月党」という『男女交歓会』を結成した際のこと。この時には妹の寿美とその女子美術学校の学友たち、太宰治、伊馬春部、塩月赳・高橋幸雄・猪口富士男・堀内剛二らが参加している。

檀の『小説 太宰治』によれば、当日は女性陣が弁当を用意し、荻窪（天沼の「碧雲荘」）から石神井公園まで約5キロの道のりを徒歩で移動したという。また、同書によれば太宰治はこの会合の際、三宝寺池南西にあった茶屋「見晴亭」（1993年頃閉店）で、結跏組み酒をあおったそうである。なお、この時には全員による集合写真も撮影されているが、その場所は石神井池・中の島北西付近であったことが近年判明している。

檀はその後1942（昭和17）年に高橋律子と結婚し、現・石神井公園駅近くの材木店2階に約1年居住。同年から翌年晚秋頃には、三島由紀夫・林富士馬（詩人）とともに三宝寺池の巣島神社付近を訪れ、夜空を眺めながら酒を飲んだりもしている。

律子は1946（昭和21）年4月に病没するが、檀は同年11月に山田ヨソ子と再婚、翌年10月には三宝寺池南側にあった「石神井ホテル」に投宿し執筆活動



▲檀一雄が一時期居住した石神井ホテル
(撮影:田口政典氏)

を続けた。そして最初の『リツ子もの』となる『終わりの火』を書き上げ、これを川端康成に託すことになった。檀は翌年5月から約半年、再び同ホテルに居住しているが、その間の6月16日朝には真鍋呂夫・高岩震（檀の異父弟）とともに「太宰治入水か」（入水日は6月13日）との報に接し、訣別詩『さみだれ挽歌』も執筆している。

同年夏の終わり頃から、檀は妻・ヨソ子と長男・太郎も呼び寄せて、ホテル内で一緒に暮らすようになったが、10月には一家で南田中の「十善戒寺」西門内にあった家に移り、さらに1950（昭和25）年には石神井池東側の家に転居した。ちなみに、翌年11月4日には、檀邸に滞在していた坂口安吾が薬物中毒で半狂乱に陥り、同宅へライスカレーを百人前注文させるという、奇妙な事件も起きている。当日ライスカレーを作ったのは辰巳軒（現在も営業中）と、ほかり食堂（2020年閉店）であったが、しかしこの話には多少の誇張も含まれているようである。

石神井時代の檀は草野心平や五味康祐ら多くの文人ととも交流を続けており、また1952（昭和27）年には文化活動団体「石神井談話会」（1961年解散）にも参加している。



▲檀一雄居宅跡付近に建つ文学顕彰碑
1976（昭和51）年に檀は福岡で病没、石神井の旧宅も近年になって、道路拡張工事のため取り壊された。本年（2024年）3月には、その跡地の一角に檀の句「何のその百年後には塵芥」が刻まれた文学顕彰碑が建立されている。

文・葛城明彦（郷土史家）



中元
大売出し
抽選会

○セール期間	7月3日（水）～7月14日（日）の12日間
○福引機関	7月12日（金）・13日（土）・14日（日） 12時～18時 3日間
○抽選場所	銀座通り ふれあい広場
○セール内容	お買い上げ300円毎に補助券1枚進呈 10枚で1回抽選 お買い上げ3,000円毎に本券1枚進呈 1枚で1回抽選
◆ 特賞	2万円分の練馬区内共通商品券 8本
◆ 1等	「前川 清 コンサート」ペア招待券 80本
◆ 2等	Tジョイ SEIBU 大泉 ペア招待券 40本
◆ 3等	5百円分の練馬区内共通商品券 600本
◆ 4等	雑貨、飲料 2,500本



石神井公園
商店街
振興組合

石神井公園ふるさと文化館のご案内！

企画展「子どもの頃に見た道具たち ーあなたが懐かしい道具はどれですか?ー」

会期：6月22日（土）～8月12日（月・休） 9時～18時

休館日：月曜日 ただし7月15日（月・祝）、および8月12日（月・休）は開館、
7月16日（火）は休館

会場：練馬区立石神井公園ふるさと文化館 2階企画展示室
練馬区石神井町5-12-16

観覧料：無料

子どもの頃を思い出してみてください。どんな遊びをしましたか？ひな飾り、五月人形飾りはどのようなものでしたか？家の中にはどんなものがありましたか？

本展では、懐かしい、楽しい思い出をテーマに、子どもの遊びや年中行事、家の中など身近にあった道具を、収蔵品の中から展示します。

会期中にイベントを開催します。詳しくは右の
二次元コードより、ホームページをご覧ください。



常設展示のご案内

常設展示では、出土品、歴史、民俗、練馬大根などの資料などを展示しています。練馬区の歴史や人々の生活の様子などを知ることができます。古民家の旧内田家住宅では季節に合わせた展示もお楽しみいただけます。分室では、練馬区ゆかりの文化人の紹介や、芥川賞作家・五味康祐がこよなく愛したクラシック音楽、オーディオ装置に関する展示を行っています。

会場：石神井公園ふるさと文化館
練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室
練馬区石神井台1-33-44
石神井松の風文化公園管理棟内



常設展示
昔のあかりの体験装置



旧内田家住宅 季節展示（七夕飾り）
令和6年6月28日（金）～7月7日（日）展示



分室常設展示
練馬区ゆかりの漫画家展示

安心・安全をサービスにおもてなし
石神井公園 旧西友通り また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

全26基、LED街路灯に建て替え更に街が明るくなりました。

石神井町
二丁目通り商店会





2015年国連採択されたSDGsとは何を目指すのか?考えてみることにした。目標は、大きく分けて17項目に分かれている。

石神井地域で取り組む【SDGs】⑩について考えることにした。

【SDGs】4は、質の高い教育をみんなに・・・すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。今回は、地元 石神井図書館長 廣川沙羅氏にインタビューした。

【目標は、大きく分けて17項目に分かれている】

Q1. 石神井図書館 地域の読者に親しまれているがその特徴は?

A. 石神井図書館は、昭和45年12月1日に区で2番目の図書館として開館しました。平成21年度には、改修によりエレベーター・スロープを設置し、書架間を広くするなど、車椅子等の館内移動を容易にするバリアフリー化に取り組み、平成22年3月に再開館しました。周辺は武藏野の面影を残す都立石神井公園や縄文時代の堅穴住居跡等がある池淵史跡公園等、緑豊かな立地にあり、当館も屋上や壁面の緑化に取り組む等、自然との調和に努めています。

当館は地域とともに歩む図書館を目指し、様々な世代への読書支援や情報発信を行っています。中でも石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の特色を伝える事業に力を入れています。例えば2階の「地域資料コーナー」と1階から2階の壁で行っている「階段ギャラリー」では、近隣の都立石神井公園や石神井公園ふるさと文化館、白百合福祉作業所、ちひろ美術館・東京、氷川神社、農業体験農園「農の詩」等と連携し、石神井地域の魅力を発信しています。また、本の展示と併せ、地域縁の文学学者や美術に関する講演会、歴史講座、自然観察会等を実施し、地域について学ぶことができる機会を提供しています。

Q2. 国連が目指す目標が半分過ぎたが、質の高い教育を目指 SDGsの取組みは?

A. 石神井図書館は、区内の小中学校11校の読書支援や調べ学習の支援等を行う他、ボランティアと協働して、定期的に乳幼児や児童向けの読み聞かせやおはなし会、認定こども園への出張おはなし会や、高齢者施設への出張おはなし会を行う等、幅広い世代への読書支援を行っています。また様々な分野の本を入口に多様な世界と出会える展示やイベントも年間を通して企画しています。例えば身近な環境問題を知ることができる企画として、石神井公園と連携し、公園が行っている生物多様性保全の取組みを紹介するパネルを関連本と一緒に展示したり、児童向けには「石神井わくわく探検」と題し、公園内の蝶々園や野鳥、冬芽に関する講座や観察会を行い、多様な生態系を楽しみながら学ぶことができるイベントを実施しています。また3月に公園が主催する環境や暮らしを考えるイベント「シンクエシカルパークデー」に参加し、SDGsや環境問題に関する本の展示やおはなし会を行っています。

以上のように、石神井図書館では読書支援を土台としながら、多様な情報発信をすることで、地域の生涯学習を支える知の情報拠点としてSDGsに貢献したいと考えています。

● 診療科目 ●

- 内科
- 糖尿病内科
- リウマチ科
- 胃腸内科
- 循環器内科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

● 診療時間 ●

● 平日
午前9:00~12:30
午後3:30~7:00

● 土曜
午前9:00~12:00
休診日:水曜/日曜/祝日



練馬区石神井町3-9-16



2015年国連採択されたSDGsとは何を目指すのか?考えてみることにした。目標は、大きく分けて17項目に分かれている。

石神井地域で取り組む【SDGs】⑪について考えることにした。

【SDGs】4は、質の高い教育をみんなに・・すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。今回は、地元の石神井南中学校 校長 木原賢三氏にインタビューした。 【目標は、大きく分けて17項目に分かれている】

Q1. 石神井南中学校の歴史は?

A. 本校は、昭和36年に開校し、今年度(令和6年度)で63年目を迎えます。開校時には、石神井中学校から移ってきた生徒とともに、新入生122名を迎えて、全校生徒367名、8学級で開校しました。開校以降、校歌の一節にも歌われている「緑かがやく武藏野」に地域の方々の教育への熱い想いが込められ、「私たちの学校」として63年間、自主の歌を響かせてきました。現在は、穏やかで真面目な生徒が多く、「挨拶は心の窓を開く第一歩」をモットーに、伝統の気持ちの良い挨拶がいつでも校舎中に響き渡る素敵な学校です。二大行事の運動会、合唱コンクールでは、石南一心で全校生徒が心を1つにして、石南中プライドを輝かせるよう取り組んでいます。また、日々の学校生活においても、学習や部活動、行事に一生懸命に励み、様々なところで活躍しています。地域・保護者と学校が強い絆で結ばれ、「我が校 石南中」を育んでいっています。

Q2. 石神井南中学校の主な教育理念

A. 本校では、「豊かな心の涵養」と「人との関りの大切さ」を教育活動の理念として創立以来、受け継いでけています。そして、60周年を機に新たな教育目標を設定し、多様性の時代に、主体性と寛容性を併せもち、他者と力を合わせてより良い社会を創る人をめざすこととしました。すべての教育活動を通して、自分を理解するとともに、自分とは価値観が異なる他人についても違いを違いとしてお互いの人権を認め

尊重していくことが大切あることを学ばせ、社会で生かし、貢献できるように生徒を育んでいくことが大切であると考えます。石南中で学んだ生徒たちが、誇りと自信をもち、石南中プライドを育み、社会で活躍できるようになることを願っています。

Q3. 当校のSDGsについて、取り組みについて

A. 本校では、平和学習を重要な教育の柱の1つとして取り組み、3学年の修学旅行では広島を訪問し、戦争の悲惨さだけでなく、生命の尊さや人間の尊厳などを学ぶ、平和教育を3年間通して、全ての教育活動で行っています。そして、すべての人の命と人権が尊重され、みんなが安心して暮らせる社会を創っていくことを目指します。また、生徒会を中心にして、校内や地域で着なくなった子供服を回収し、世界各地の難民などの服を必要としている人に届ける「服のチカラプロジェクト」やプラスチックごみの削減を目指し、ペットボトルキャップの回収を行う「CAP50プロジェクト」に取り組み、世界に目を向け、環境問題や貧困問題と向き合い、自分たちにできることから始めています。今後も持続可能な社会づくりに向けて、石南中から発信できるよう様々なことに取り組んでいきたいと考えています。

校章の由来

富士と桜花をデザインしたもので、遠く秀麗富士を背に、桜並木を美しく映す千川上水のほとりにそびえ立つ本校を象徴しています。



石神井公園駅そばにある創業54年、総合保険代理店です。
皆様が安心して生活できるよう保険でサポートいたします。

株式会社K'sトラスト

〒177-0041 練馬区石神井町3-25-8 橋本ビル2階

FAX 03-5923-7776
e-mail info@ks-trust.net

《取扱保険会社》

三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上あいおい生命保険株式会社・東京海上日動あんしん生命保険株式会社・ジブラルタ生命保険株式会社



～練馬区 縁(ゆかり)のある文人たち～ 紹介シリーズ①

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、令和6（2024）年1月から分室にて練馬区ゆかりの漫画家の紹介をしています。漫画「JIN」の作者である村上もとか館長をはじめ、練馬区内にはたくさんの漫画家が住んでいらっしゃいます。3ヶ月ごとに2人の漫画家を紹介し、原画や漫画本などを展示しています。今号から本誌では、ふるさと文化館分室で作品展示を行った漫画家を紹介していきます。



左：原画「はっぴーえんど」(12話「カゴノトリ」前編)
平成29(2017)年
右：原画「はっぴーえんど」(19話「いのちをつなぐ」前編)
平成30(2018)年

魚戸おさむ

北海道函館市生まれ。札幌市育ち。漫画家の村上もとか、星野之宣に師事し、昭和60（1985）年、『忍者じゃじゃ丸くん』でデビュー。主な作品に、4度テレビドラマ化された『家栽の人』『イリヤッド～入矢堂見聞録～』『玄米せんせいの弁当箱』『はっぴーえんど』『食卓の向こう側コミック編』など著書多数。また絵本に『いのちをいただく～みいちゃんがお肉になる日～』『はなちゃんのみそ汁』（第26回「けんぶち絵本の里大賞」びばからす賞）『「弁当の日」がやってきた！！』『ジョニーとマーガレット スーパー恋ものがたり』がある。



左：原画「築地魚河岸三代目」平成18(2006)年
右：原画「築地魚河岸三代目」平成22(2010)年

はしもとみつお

昭和52（1977）年、『少年ジャンプ増刊号』（集英社）にて「ふたりはライバル」でデビュー。昭和63（1988）年に『ビッグコミックスペリオール』（小学館）にて「ふ～ふ生活」を連載し、青年誌へ活動の場を移す。平成12（2000）年より『ビッグコミック』（小学館）にて連載を開始した「築地魚河岸三代目」は好評を得て長期連載となり、実写映画にもなった。主な作品に『天才ドンベ』『STATION』『医者を見たら死神と思え』『徘徊先生』『カレーマン』などがある。

7月～9月は、高宮二力先生と武村勇治先生の作品を展示する予定です。ぜひご来場ください。



葬儀に関する事なら何でも相談ください

24時間
安心ダイヤル

フリーダイヤル
0120

ヨイセレモニー
0120-41-7062

感謝のセレモニー
マキノ祭典

■本社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040
■サロン：東大泉店・大泉学園町店・石神井公園駅前店・大泉学園駅前店・中野駅前店

マキノ祭典

検索

～練馬区のサークル紹介～ その④

練馬で活躍する[NPO 成年後見推進ネット これから]

NPO 法人成年後見推進ネットこれからは、2006 年 12 月に設立され、翌 2007 年 3 月に NPO 法人として認証されました。「認知症や障がいをかかえた人の思いが大切にされる社会に」「自分の高齢期を自分で設計、自分で選択できるように」を目標に掲げて、練馬区で地道に活動を続けてきました。現在の会員数は約 45 名で、その中の 10 名が事務局スタッフとして運営に関わっています。

当会の主な活動は下記のとおりです。

① 講演会の開催

会員や一般の方に向けて、後見制度の内容理解や利用について、講演会・講座などを企画し、テーマに応じて専門家の講師をお招きしています



▲ これから塾の様子

② これから塾

毎月第 1 火曜日の午後 1 時半から、練馬高野台駅北口 1 階の街かどケアカフェこぶしで開催する「これから塾」は、安心の高齢期を過ごすために、その時々のテーマによるミニ講座を行っています。成年後見その他のご相談も受け付けています。

③ 「これからノート」「後見人が走る」の制作・頒布

「これからノート」は、自分自身の“これから”を自分でデザインするための人生整理ノートです。

「後見人が走る」は、「これから」初代理事長が、後見人として活動する際の思いを書き留めた冊子です。

④ 法人後見の受任

地域に根付いたNPO法人として、任意後見及び委任事務契約を結び、生活者の視点でご本人の気持ちに寄り添った後見活動を目指しています。

今後予定されているイベント紹介

今年の講演会は次の要領で開催します。

テーマ：加齢性難聴と生活の質の維持
～聞こえないをほっとかない～

講 師：郷司 智子氏（荻窪耳の相談室
JINO 代表取締役）

日 時：2024 年 6 月 30 日 (日) 14 時～16 時

場 所：石神井公園区民交流センター 2 階
展示集会室

参加費：500 円 (会員無料) 定員：100 名

申込み：電話 090-7819-2581 (酒井)
メール nopokorekara@gmail.com

<入会申込・お問合せ先>

NPO 法人成年後見推進ネットこれから

TEL: 090-7819-2581

FAX: 03-5997-6345

Mail: nopokorekara@gmail.com

Blog: <http://blog.canpan.info/korekara/>



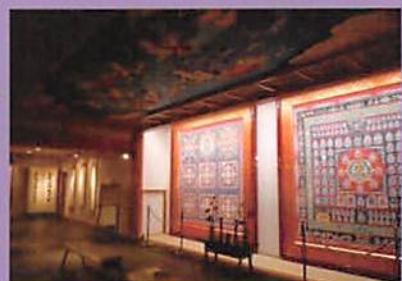
～地域文化の交流点～ 観藏院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00～16:00

東京都練馬区南田中4-15-24

TEL 3996-6858 FAX 3996-6878

<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>



盛会だった 第10回【石神井再発見ウォーク】

石神井まちづくりの会では、5月19日石神井公園の「歴史と文化」を楽しみながら自然の豊かな公園を歩く【石神井再発見ウォーク】を行った。当日は、31名の参加者があり、今年も盛会だった。歴史家で講師の葛城明彦氏の解説にメモを取りながら石神井公園駅前をスタートし、駅前の火車站之碑前で説明を聞き、旧檀一雄宅前や石神井公園記念庭園(第二豊田)～ボート池～都立野球B球場～空爆があった野外ステージを通り～三宝寺池や石神井城址～石神井ホテル跡～姫塚～殿塚～松の風公園～ふるさと文化館分室で解散した。



▲石神井公園駅前広場で講師の話を聞く

～行列が出来た 練馬まちづくり 第23回【歴史と文化講座】～



▲歴史と文化講座で司会者と講師▼



て内外に観光客から大いに期待されることであろう。

南田中のまちを考える会の主催で、初夏の爽やかな季節に石神井公園ふるさと文化館で令和6年6月6日午後2時 第23回【歴史と文化講座】が60余名の参加者を迎えて開かれた。テーマは【江戸の成り立ちと江戸城天守を再建する運動】で、講師が二度目の出演で18代の子孫である太田資暁氏ということもあり、行列が出来る講座で、約2時間に及ぶ講演が大盛況であった。ご承知のように太田道灌は、江戸、川越、岩槻の城を築城の名人で関東の各地で30数度戦い負けなしの名将で率先垂範のリーダーである。

1477年豊島一族と太田道灌の戦いで石神井城や練馬城は落城している。講座の後半は皇居東御苑に江戸城の天守再建を！の趣旨で認定NPO法人の江戸城天守を再建する会の進捗状況の話を交えながら会の活動状況をお話されていた。再建された江戸城は、日本のシンボルとして内外に観光客から大いに期待されることであろう。



尚、現在 日本放送協会に対して【太田道灌を大河ドラマ】にと署名活動も盛んに行われている。(下河秀行)



▲令和時代に、江戸城天守再建を目指している。



▲CGで表現された城の遠景図（写真提供：太田氏）

Shimizu Dental Clinic

シミズ デンタル クリニック
歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科
練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
石神井バーコード商店街 銀座通り
診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
お昼休み 13:00～14:00
日曜・祝祭日 年末年始 休診
03-6913-3517 <https://firstmolar.jp/>

～お知らせ～
当院では、**歯科訪問診療**を行っています
クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで
ご家庭や施設など限られた環境でも
経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応
みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします
どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください



院長 清水 雄一郎

石 神 井
まちづくりの会

ご意見等は、**E-mail & FAX**、又は左下の e-mail へ送信してください。

TEL & FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。